

# 事 業 報 告

自 令和 4 年 4 月 1 日

至 令和 5 年 3 月 31 日

学 校 法 人 佐 伯 学 園

## 令和4年度 事業報告

はじめに

文部科学大臣の諮問機関である中央教育審議会が平成30年11月に取りまとめた「2040年に向けた高等教育のグランドデザイン（答申）」によれば、2021年度から減少に転じた18歳人口は、2024年度までの4年間で11万人減少し約106万人となり、2040年度には約88万人にまで減少するという推計となっています。

その中でも、本校におきましては、令和3（2021）年度、令和4（2022）年度と入学定員を上回る学生生徒を受け入れることが出来ました。しかし、令和5（2023）年度の入学生は、入学定員を下回り大変厳しい状況となっています。この厳しい状況下で本校が存続し続けるためには、時代の流れに対応しながら、社会から評価される新たな時代に輝く学園づくりに向けた不断の努力が必要であることは言うまでもありません。学園をあげて、社会環境の変化に対応するために、カリキュラム内容の検討を重ね実施して参りましたが、入学生の定員確保には至りませんでした。なお、事業の遂行にあたっては、学生生徒の皆さんからの学納金等を最大限有効に使用できるよう費用対効果の向上とともに経費削減に努め、「健全な財政基盤の堅持」を維持しています。また、新校舎開設以来の懸案であった底地権の取得ができたことはこれからの学校運営にプラスになると考えます。

本校は栄養士養成教育機関として、様々な分野で活躍できる個性豊かな人材を育成し、社会の発展に寄与することを責務としています。

変化が激しく先が見えない時代だからこそ、厳しい時代であっても、逞しく生き抜く力を持った学生生徒の育成に注力して参ります。

学生数（5月1日現在）

単位：人

	令和5年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
1年	85	132	131	126	117
2年	120	127	125	116	111
留年	(11)	(8)	(9)	(7)	(3)
合計	205	259	256	242	228

※ 留年は再履修者を含む。

### 1. 新型コロナウイルス感染拡大防止対策における授業、学校行事への取組みについて

新型コロナウイルス感染防止対策については、昨年度に引き続き「新型コロナウイルス感染症予防対策」に基づき次の事項を実施し感染予防に努めた。

- ・学生、教職員、来校者に対してマスク着用の徹底
- ・学生、教職員、来校者に対して非接触型検温装置（サーマルカメラ他）による検温と記録
- ・アルコール消毒液及び感染防止用アクリル板の設置
- ・高性能空気清浄機の設置
- ・備品等の定期消毒
- ・教職員は毎月1回抗原検査キットによる検査を実施

学校行事については、予定通り実施することができた。なお、食育祭については新型コロナウイルス感染拡大防止の措置がとられていたため外部からの入場者を制限して3年

ぶりの開催となった。

- ・入学式 ・新入生歓迎会 ・バス旅行 ・就職セミナー ・企業説明会
- ・テーブルマナー ・食育祭 ・終業式 ・謝恩会 ・卒業式

## 2. 教育カリキュラムについて

カリキュラムは、創立 98 年の歴史を持つ学校の理念を継承しつつ、変化する社会で活躍できる人材を創出していくものであり、卒業生が栄養士として社会で活躍できるように組み立てている。本校が目指す「栄養士」とは、単に栄養に詳しいだけではなく、人々の暮らしと深く関わっている栄養を実社会で正しく運用することができる人材であり、様々な知識が必要とされている。

本校においても令和 5 年度から、選択制の授業ではあるが様々な技術や知識を身に付けてほしいという思いから、「フルーツカッティング・フルーツ&ベジタブルカービング教室」を設置することを決定し、講師はフルーツカッティングの第一人者で、フルーツアーティストの平野泰三先生、平野明日香先生にフルーツカッティング・カービング(タイの伝統工芸)を担当いただくこととした。

また、学力不足を補うための自主勉強会、栄養士実力認定試験対策講座、管理栄養士国家試験対策講座を引き続き実施した。

## 3. 在学生の満足度向上

校外実習は、実習施設として病院関係 2 施設（東京慈恵会医科大学附属病院、東邦大学医療センター大橋病院）、福祉関係 2 施設（ジロール翹町、フレスコ浅草）、学校 10 施設（大田区小中学校）、委託給食関係 3 施設（シダックス株式会社）にお願いし、学生の希望に応じた実習施設を選ぶことができるように配慮した。実習は予定通り実施することができた。

学生生活 2 年間の充実した学習環境を提供するためには、多様なアプローチがあり得るが、入学の段階から個人面談を定期的の実施している。就職についても 2 年生時には月 1 回のアンケート調査を実施し、個別に就職のサポートを行った。その成果として、就職希望の学生は全て就職することができた。今後も情報収集を行い、サポート体制を整え就職支援に努めていく。

教育面および学生支援面の充実度の一つの指標として中退率を継続的に把握している。令和 4 年度の退学者は 16 名と前年度から増加した。進路変更を理由とする生徒が多く今後の課題となった。

学校の安全対策については、女子学生の事件・事故等を未然に防ぐため活動時の安全面の管理、学生の事故等の報告ルートの確立、報告書の整備などに努め、情報の共有化と対応に努めている。

令和 4 年度退学者：16 名 前年 12 名（除籍 2 名）

## 4. 第 19 回(令和 4 年度)栄養士実力認定試験について

11 月 5 日(土)・12 日(土)・26 日(土) 栄養士実力認定試験対策講座を実施。試験は 12 月 10 日(土) 在学 2 年生 121 名を対象に実施し、当日の受験者は 112 名(受験率 93%)、結果判定は以下の表にまとめた。

昨年に続き在学 2 年生全員を対象に実施、認定 A 及び認定 B の割合は上昇し認定 C の割合は減少した。全国平均に比べ認定 C 割合を減らすことが今後の目標となる。試験対策講座の充実や学生への意識向上に努め、今後の得点率アップを目指して引き続き学生指導を継続する。

なお、全国成績上位者に与えられる栄養士実力認定試験成績優秀者の対象となった 22 名の中に 3 組の学生が 1 名選ばれ表彰されたことは、昨年の成績優良者に続いてうれしい報告となった。

評価	得点	得点率	全国		本校	
			人数 (人)	割合	人数 (人)	割合
認定 A	51 点以上	60%以上	5,985	68.5%	43	38.4%
認定 B	34 点～50 点	40%～59%	2,407	27.5%	57	50.9%
認定 C	33 点以下	39%以下	350	4.0%	12	10.7%
合計			8,742		112	

#### 5. 学生募集計画 ( ) は昨年比

令和 5 年度の学生募集状況は定員割れとなり非常に厳しい状況となった。

広報活動は、オープンキャンパスを中心にホームページのリニューアルと亢進、学校案内パンフレットのリニューアル、学校紹介事業会社への参画、学校案内無料配布、職員による高校訪問を昨年度と同様に行った。

資料請求数は 2,204 件 (-579)、オープンキャンパスは、体験会 11 回、見学会 31 回、計 42 回計画したが、その内 2 回が参加者 0 人のため中止した。参加者は 217 名 (-113 名) であった。リモートによる見学対応者数は 4 名 (-1)、その他の学校見学者数は 21 名 (+2) であった。

令和 5 年度の入学者総数は 81 名 (-48)。現役高校生からの入学は 47 名 (-44 名) となった。地域別にみると都内の高校から 8 名 (-4 名) (内訳：大田区 3 名 (-4 名)、その他 5 名 (±0 名))、神奈川県 27 名 (-26 名)、千葉県 2 名 (-16 名)、埼玉県 1 名 (-1 名)、他県 9 名 (+3 名) となった。オープンキャンパス参加者からの入学獲得率は 39% (昨年 39%) となった。オープンキャンパスへの参加者の減少が入学者数減少へとつながっている。

#### 令和 5 年度入学生数 ( ) 内は昨年比

単位：人

総数	内訳		
	高校生現役	社会人 【委託生含む】	※再掲 【委託生】
81 (-48)	47 (-44)	34 (-4)	5 (+2)
男 15 (-3)			海 1、陸 2、空 2
女 66 (-45)			

## 6. 学生への啓発活動

コロナ禍において、ますますインターネット、スマートフォンを始めとするデジタル機器、SNS などのコミュニケーションツールの使用が増え、それに伴い脅迫被害、詐欺被害、アルバイト募集が招いた犯罪への加担などのトラブルが増加している。

消費者庁が作成したインターネットトラブル事例を参考に、学内外でのスマートホンの使用についてルールを徹底し、被害者にも加害者にもならない危機管理が身につけられるよう指導している。スマートフォンのトラブルでいじめなどに発展した場合の相談窓口は、学生部、担任副担任があたることを説明している。また、校内放送を利用して学生に対し感染予防の取組や意識の向上、喫煙マナー及び喫煙の害や禁煙の重要性に関する知識の普及・啓発に努めている。

## 7. 令和4年度の決算状況

健全かつ永続的な安定した財政基盤の確保には、入学生の定員確保が重要課題であると同時に、基本方針に則り、限られた財源の重点的使用、及び支出削減に努めている。

## 8. 就職支援について

就職希望者は、卒業生 118 人のうち 102 人が就職を希望し、3 名が進学した。就職率は、昨年に引き続き 100% を達成した。就職先は、給食事業運営会社への就職が 63 人（内訳 派遣先不明 34 人、学校 23 人、医療 4 人、福祉施設 2 人）と多く、次いで直営施設へは福祉施設 20 人、学校栄養職員 1 人、病院 1 人、自衛隊 2 人、栄養士業務以外への就職未就職者 15 人であった。学生一人ひとりの希望や適性に合った仕事に就けるよう、キャリア支援部及び担任副担任がサポートを行っている。また、ハローワーク担当者による就職セミナー、企業説明会、卒業生の体験講座、ビジネスマナー講座は、オンライン等を利用して開催し、学生の就職に対する意識向上に努めた。

また、きめ細かな就職相談に対応するため、キャリア支援を担当する職員に対して専門資格である「キャリアコンサルタント」取得を支援することとした。

卒業生数

単位：人

	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
計	118	114	109	96	106

## 9. 佐伯栄養専門学校創立 100 周年記念式典に向けて

佐伯栄養専門学校創立 100 周年記念式典実行委員会を開催し検討を重ねている。

## 10. 地域貢献について

令和4年度は、コロナウイルス感染症の感染者数減少のため大田区などの食育事業の開催に伴い下記の事業に食育サットシステムやインボディー、貧血検査機器などで参加した。

- ・大田区大森東地区健康まつり・人生 100 年（令和4年 10 月 30 日・日曜日）
- ・おおたふれあいフェスタ（令和4年 11 月 5 日・土曜日・6 日・日曜日）
- ・大田区鶴の木地区大人の体力測定（令和4年 11 月 23 日・祝日）
- ・大田区ナナハト学校（令和5年 3 月 26 日・日曜日）